

ごみゼロプロジェクトって？



今、地球温暖化やマイクロプラスチック、ごみの処分場など、わたしたちのまわりで、さまざまな環境問題が起こっています。そんななかで私たち、さらには私たちの子どもたちが安心安全な暮らしがおくれるかを考えたときに、私たちが住むまちの「ごみ」はこのままでよいのだろうか？今は平和に暮らしているけど、将来はどうなのか？と思い、今私たちには何ができるのかを考えました。

家では「ごみ」を分けているが、夏まつりや文化祭などのイベントでは分けて、分ければ資源になる「ごみ」も、もえるごみ、もえないごみとして捨てられ、毎年たくさんの「ごみ」が出ています。そこで、チョボラ・ジュニアの会の中で有志をつのり、いつも行っている里見川荘での活動以外に、新たに私たちが住む町のごみ問題を取り上げ、今回は文化祭のごみを減らすには、どうすればよいかを考え、「ごみゼロプロジェクト」を立ち上げ、今までイベントで分けられずに捨てられていたごみを各家庭でやっているように、もえるごみ、もえないごみ、資源ごみに分けて、ごみを減らす取り組みを行いました。



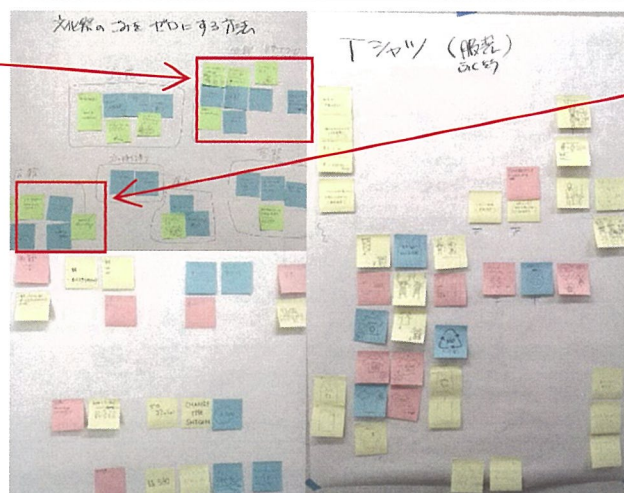
活動その1（8月上旬）

ポストイットを使用した ブレインストーミング

最初にみんなで集まったのは暑い8月！！
11月に開催される里庄町産業文化祭で
ごみをゼロにするためにいろいろな
方法をみんなで話し合いました。
ごみをゼロにするためには・・・

分別・リサイクルを促す方法

- ・机の上や、いすに、お知らせを掲示
- ・残っているごみは自分たちで回収
- ・たすきなどの目印を身に着ける
- ・分別場所をわかりやすくする
- ・かわいいごみ箱を設置



広報活動

- ・ポスターを作る
- ・垂れ幕をつくる
- ・ロゴマークをつくる
- ・看板をもって歩く
- など



みんなの意見をまとめながら少しずつやることが見え始めてきました。
分別用ごみ箱の作成やポスターの作成・ロゴマークの作成・看板の作成等やることは山積みだ！！

活動その2（8月上旬）

ロゴマークのデザイン 取り組み内容の話し合い

文化祭当日まで長いようであつという間
勉強や部活で集まれる時が少ないので
集まったときは全力で話し合いをしました。
ミーティングには里庄町役場の方々や
浅口清掃センターの方々など世代を超えての
話し合いを行い、様々な意見を得ることができました。
分別用ごみ箱の作成やロゴマーク・看板・チラシなど
みんなで意見を持ち寄って少しずつ完成を目指しました。



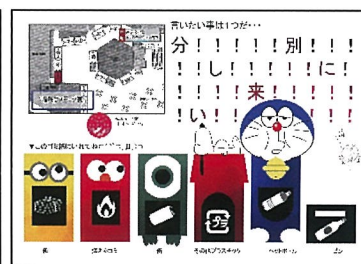
みんなで考え決めたロゴマーク



当日配布用チラシ

表

裏



5W1H「いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・
どのように」をつかい計画的に取り組みました。

また、当日、プロジェクトチームがわかりやすいように、ロゴマークや、
缶バッジ、シールをみんなでデザインし、作成して身に着けることで、より会場内での活動を盛り上げようと考えました。

活動その3（8月下旬～9月下旬）

分別用ごみ箱作成

- ①ダンボール箱を2段に重ねて
分別用ごみ箱の基礎を作成
しっかりと接着剤で固定しました。
- ②みんなに興味をもってもらい、
分別したくなるように、分別用
ごみ箱にキャラクターを描いたり
工夫しました。

ここで頑張ったこと！

ごみは、できるだけ出さないように
ダンボールや発泡スチロールなど再利用できるものを使って、ごみを出さないように作成しました。



分別用ごみ箱完成



みんなで協力して、分別したく
なるような、分別用ごみ箱を
完成させることができました

活動その4（10月上旬）

当日の流れや、やることリストについての話し合い

① 分別に協力してもらう案内のチラシは
飲食スペースを中心に配布

② インスタ映えする分別用ゴミ箱を
拡散してもらう

③ 飲食スペースに設置した案内図で、ゴミを
もった人をエコステーションに誘導

④ ペットボトルやトレイなどは流しで洗ってもらって
分別用ゴミ箱に入れてもらう

⑤ 看板をもって会場内で声掛けする

⑥ ステージでエコステーションを紹介し、
ゴミを減らすために、分別の協力を
願う

⑦ 文化祭終了後、どれくらいゴミが減ったか調査する

⑧ 自分たちの取り組みによって文化祭のゴミがどれくらい
減ったか発表する



飲食スペースに設置した案内図



当日、服などに貼るステッカー

活動その5（11月3日 文化祭当日）

文化祭のゴミを減らす

エコステーションを設置したことで、子どもから大人まで、様々な世代の方々に協力していただきました。少しの手間で里庄町が
きれいに住みやすい街にできることが分かって、学校のみならず、家の人にも教えてあげたいと思いました。



文化祭のゴミが、どれくらい減ったか調査

エコステーションで回収したゴミと、エコステーション以外のごみ箱で回収したゴミを調べ、文化祭のゴミがどれくらい減ったかを調べ
ました。



エコステーション以外のごみを、
もえるごみ、もえないごみ、資源にできたごみに、みんなで分別中



みんなで計量中

エコステーションとエコステーション以外のごみ箱で回収したゴミを、それぞれ、もえるごみ、もえないごみ、資源ごみ、資源にできたご
みに分けて重さをはかりました。

実際に自分の手で分別することで分別することの大切さや間違いやすいゴミなど改めて認識することができました。

自分たちが思っていた以上に、洗ってきちんと分けたら資源にできたゴミの量が多かったのには、おどろきました。

来年からもっと、ゴミが減ることを願っています。

結果



エコステーションで回収

もえるごみ 13.5kg

資源ごみ 13.2kg

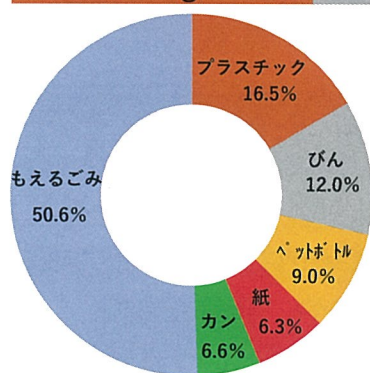
プラスチック
4.4kg

びん
3.2kg

ペットボトル
2.4kg

紙
1.7kg

カン
1.5kg



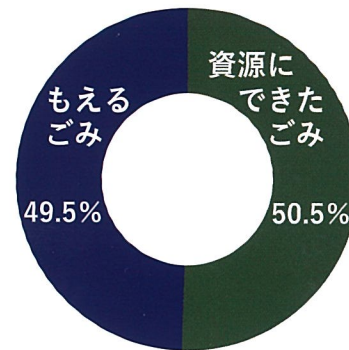
エコステーションで集めたごみは、
半分が資源ごみであり、
エコステーションで集めたごみを
半分に減らすことができた



エコステーション以外で回収

もえるごみ
14.5kg

資源にできたごみ
14.8kg

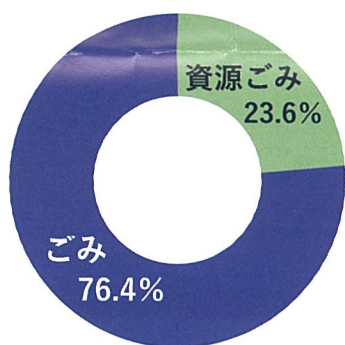


エコステーション以外のごみ箱で
集めたごみは、きちんと分ければ、
半分が資源にできたごみであった

ごみ
29.3kg
エコステーション以外で出たごみ

ごみ
13.5kg
エコステーションで
出たごみ

資源ごみ
13.2kg
エコステーションで
出た資源ごみ



ごみをエコステーションに持ってきて
もらったことで、文化祭のごみを
1/4 減らすことができました。

エコステーションを設置したことで文化祭のごみを
減らすことができ、里庄町のごみ減量化に貢献
することができました。
文化祭に来てくれた人たちが協力すれば、こんな
にもごみの量が減っていくんだと驚きました。

「ごみゼロプロジェクト」を結成し、今まで活動して
きた成果が目に見える形で表現でき、とてもうれ
しかったです。
来年は今年よりもごみが減るように取り組みをバ
ージョンアップしたいと思います。

町民のみなさまへ お礼

里庄町産業文化祭ではトレイを洗ってもらったり、ごみの分別に協力していただき、ありがとうございました。
来年度も引き続きごみを減らすために取り組みたいと思っています。また、分別しやすいごみ箱もさらにバージョンアップ
したいと考えています。来年度も来場された方々には、ごみの分別にご協力していただけたいと思っています。
ごみを減らすためには少し手間がかかるけど、その少しの手間で、ごみを減らすことができることを改めて実感することができました。
また、何事も一人だけで頑張るのではなく、みんなで楽しく、協力しながら取り組むと、大きな力、大きなことができることを実感できま
した。小さい子どもから大人までみんなのちょっとした意識できれいな街にできると信じています。これからも、ごみを減らす取り組みに
ご協力をお願いいたします。



発刊にあたり

「ごみゼロプロジェクト」立ち上げから、子どもたちの活動を見守ってきましたが、振り返ってみると、子どもたちの成長が目に見えて
わかり、何もなかったところからはじまり、かたちになった活動でした。また、今回のプロジェクトは「主体的、対話的」に「深く」プロジェクトに
取り組む子どもたちの姿がとても印象的で、子どもたちの可能性を大いに見せつけられたプロジェクトでした。

それにひきかえ、普段大人たちは、体裁を気にしたり、子どもたちの考えを聞かなかったり、大人の考えを子どもに押し付けたりと、
今回の子どもたちの姿を見てはずかしくなりました。

勉強や部活動などでとても忙しい中、新しい可能性に満ちたアイデアを出し、メンバーのみんなと対話し、考え、ごみが減るという成
果を出した今回のプロジェクトは大人の私たちも勉強させられ、忘れられない思い出になりました。

終わりにになりましたが、ご協力をいただいた皆様方に深く感謝申し上げます。今後ともチョボラ・ジュニアの会を、よろしくお願いいたします
ます。

ごみゼロプロジェクト コーディネーター 有限会社浅口清掃センター

感想

1年生

最初は、あまり意見が出せなかったけど、何回かやっていくうちに自分の意見が少し言えるようになりました。一番心に残っていることは、ちらし配りです。「こんな活動をしているのでご協力お願いします」と声をかけながら配りました。受け取ってくれない人もいて、少し悲しいこともあったけど、約 100 枚以上を配ることができました。いろんな会場へ行き、少しでもごみを減らせるようにと考えながら取り組みました。また、配ったときにいろんな人から「ありがとう」と声をかけてくれて、すごく達成感がわきました。

この活動を終えて、ごみを減らすことができ、少しでも環境がよくなったのではと思います。

来年も、もしこの活動があれば、ぜひ次も参加して少しでも町のために地球のために頑張って取り組みたいと思います。

文化祭でごみを減らす活動をやってみて、ごみがビックリするほど減ったので、びっくりしました。

ごみゼロプロジェクトをやってみて本当に良かったです。

チラシをいろいろな人に配ったかいがありました。

私は家でもできるだけ分別するようにしています。ごみを少しでも減らせば、地球に優しい環境になると思うので、みんながごみを分別し、暮らしやすい環境を作っていきたいです。

自分は最初の準備から、ごみゼロプロジェクトに参加し、だんだんできていく、ボランティア団体・オシャレな分別用ごみ箱をつくる事ができ、とてもやりがいのあるボランティアだった。なかなか「人と接しながらボランティアをする」というのが初めてだったので、とても良い経験となった。もしも来年度、このようなプロジェクトをやるのであれば、ぜひ進んで参加したい。

2年生

チョボラのごみゼロプロジェクトに参加してみて、ごみについてよく学びました。最初は、友達にさそわれて、一緒に興味本位でいってみました。

私は町の人たちと協力、話し合ったりすることがなかった。文化祭で、ごみゼロプロジェクトをやることを知って、すごく大掛かりで、集まって分別用ごみ箱を作って、分別の種類をわいて、当日は、紙をいろんな人に配って、子どもや大人の方に分別してもらって里庄町に貢献できたと思いました。貴重な体験ができ、いい思い出になりました。

約2ヶ月前から案を考えたり、分別用ごみ箱を作ったりして大変だった。その分、当日、皆がきちんと分別して捨ててくれたり、協力してがんばったので、良い成果が出たと思う。

ペットボトルのストラップ作りは、去年もやっていたので、分かりやすく説明できたと思う。ステージに立って宣伝も緊張したけど、上手にできたと思う。

ごみを分別したり、ステージに上ることはあまりないので、楽しかった。この活動が町のためになり、人の役に立つことだと思うので、来年も参加したい。

私はこの、ごみゼロプロジェクトで環境への考え方や、自分たちで、一から考えてつくるという責任感を得ることができました。

夏休みの前から何をしたら文化祭に来た人たちが分別をしてくれるかなと考えたりして、当日、たくさんの方々が分別をしに来てくれて、自分たちの案で、リサイクルするごみが増えたのがすごく嬉しかったです。長い間準備をしてきてよかったなと思いました。

私は友達に誘われて参加しました。

最初は、何をすればいいか、よく分からず不安でしたが、実際に、自分たちで分別用ごみ箱を作ったり、産業文化祭で、ごみをへらすことができたり、とてもよい経験ができたと思います。

そして里庄町で、もっとごみをへらしていきたいと思いました。

来年もあれば、ぜひ参加して、ごみをへらしたいと思います。

夏からの準備では、あつまって、ごみをへらすために、キャラクターをつくりました。いろいろ工夫をし、当日、少しは、ごみをへらすことが、できたと思います。文化祭当日では、ペットボトルのストラップをつくったり、教えたりして、けっこう身についたし、楽しかったです。来年も、ごみをへらすための活動があれば、参加したいです。

3年生

最初はどんな活動をするのかよく理解していない状況での参加でした。でも、話し合いなどに何度も参加していくうちに、わかってきて、だんだんと積極的に意見を言ったり、行動したりすることができるようになりました。分別用ごみ箱を作る工程には、あまりかかわることができなかったけれど、完成した分別用ごみ箱を見て、作ることができてよかったと思いました。当日は、思ったよりもたくさんの方が協力してくださって、今まで活動してきたことの実が、むすばれたような気がして嬉しかったです。今回は貴重な体験をさせていただけたと思います。また、機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

夏からの準備は、私達の考えを遠慮がなく言うことができる環境があり、すごくやりやすかったです。

かわいい分別用ごみ箱を、みんなとコミュニケーションをとりながら楽しくできました。

文化祭当日は、文化祭に来てくださった方が分別しに来てくれたので、嬉しかったです。

今後の、ごみゼロプロジェクトでは新企画を考えていけたら、いいなと思います。

最初は何をすればいいか分からなかったけど、活動をしていくうちに、このプロジェクトの本質が見えてきたように感じました。1人の力ではなく、たくさんの人の力があつたからこそ、ここまで、できたのだと思います。

分別用ごみ箱を作製したり、当日呼びかけをしたり、今まで体験したことのないことが多く、良い経験ができました。

また、機会があれば、参加したいと思います。